2011年12月15日

各　　位

パーク24株式会社

2011 年 10 月期決算概要および中期経営方針

パーク24株式会社（本社：東京都千代田区、社長：西川　光一）の 2011 年 10 月期決算は、連結売上高 1,240 億 80 百万円（前期比 9.6%増）、営業利益 132 億 92 百万円（同 3.5%増）、経常利益 127 億 11 百万円（7.0%増）と、営業利益、経常利益ともに過去最高益となりました。

■2011 年 10 月期の概況

≪駐車場事業≫収益性の高い駐車場開発により過去最高益を達成

積極的な駐車場開設により、タイムズ駐車場の総運営台数は過去最高の 357,129 台となりました（前期比 13.7%増、月極駐車場、管理受託駐車場等を含む駐車場総運営台数は 473,261 台）。運営件数の積み重ねと、新規駐車場の早期収益化を継続した結果、駐車場事業において売上高前期比 7.8%増の 1,020 億円 10 百万円と過去最高を達成しました。また同時に駐車場整備、コールセンターでのお客様対応などグループ各社一体となり、駐車場の品質向上に努めました。

≪モビリティ事業≫カーシェアリング事業：業界トップの 7 万人の会員数

カーシェアリングサービス「タイムズプラス」はタイムズ駐車場への車両配備を加速させた結果、会員数も飛躍的に増加し、2011 年 10 月末現在、業界最多の 2,145 カ所（前年同期比 2.9 倍）、2,727 台（同 2.6 倍）、71,850 名（同 3.1 倍）となりました。レンタカー事業は法人営業の強化に努めた結果、モビリティ事業全体の売上高は前期比 18.3%増の 220 億 69 百万円となりました。

■中期的な経営方針

～快適なクルマ社会の実現に向け、タイムズ駐車場 50 万台、モビリティ 4 万台体制へ～

当社グループは、「快適なクルマ社会の実現」に向け、その一翼を担うと同時に、経常利益 2 桁成長を継続することを経営の基本方針としています。

中期的には、サービスの基盤となるタイムズ駐車場の更なる拡大と、モビリティネットワークの創出を目指します。具体的には、駐車場事業では、タイムズ駐車場の運営台数を 2014 年 10 月末までに 50 万台に拡大させます。モビリティ事業では、カーシェアリングサービスの市場確立に向け「タイムズプラス」の早期拡大により「タイムズ駐車場に行けばクルマに乗れる」環境の整備・定着を図ると同時に、レンタカーサービスの拠点ネットワークの拡充を目指します。これにより、4 万台のモビリティネットワークを構築します。

タイムズ駐車場ネットワーク、モビリティネットワーク、両ネットワークの構築と融合により、2014年10月期では、売上高1,800億円、経常利益240億円（平均成長率24.0%）を目指します。

■2012 年 10 月期の取り組み

≪駐車場事業≫

新規駐車場開発では、過去最高の 1,650 件 72,000 台を目指します。TPS 事業においては高付加価値サービスの提供により、前期比 31.1%増の 400 件の新規開発に努めてまいります。また、引き続き新規駐車場の早期収益化と、既存の駐車場の利用促進を徹底する事により売上・利益ともに過去最高を目指します。

≪モビリティ事業≫

カーシェアリング事業は 2012 年 10 月末までに 4,200 台の車両配備を目指し、既存ステーションの増車と新エリア拡大に向け積極的に事業を推進してまいります。同時に法人営業強化や商業施設等との企画推進により利用促進を図り、10 月末までに営業利益±0 円を目指します。

これらにより、連結売上高は前期比 12.0%増の 1,390 億円、営業利益は同 24.1%増の 165 億円、経常利益は同 25.9%増の 160 億円と過去最高を目指します。

以上